

「Team HRC」のティム・ガイザー選手が MXGP で 2年ぶり4度目のチャンピオン獲得

2022 FIM^{※1}モトクロス世界選手権の最高峰クラス MXGP（450cc クラス）において、株式会社ホンダ・レーシング（HRC）の契約ライダーで、ワークスチーム^{※2}「Team HRC」のティム・ガイザー選手（スロベニア 25歳）が、2年ぶり4度目のチャンピオンを獲得しました。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム。Honda では HRC が運営するチーム



ティム・ガイザー選手とチームスタッフ



ティム・ガイザー選手と CRF450RW

今シーズンのモトクロス世界選手権は2月にイギリスで開幕し、Team HRC のティム・ガイザー選手は、Honda のワークスマシン「CRF450RW」を駆り参戦しています。

これまで第15戦 スウェーデン大会の終了時点で、全30レース中13レースでの優勝と、2回の3大会連続を含む8大会で総合優勝を獲得しており、その結果、ランキング2位とのポイント差を115として、チャンピオンに王手をかけていました。

8月14日（日）に開催された第16戦フィンランド大会では、レース1を6位、レース2を7位でフィニッシュし、その結果、ランキング2位の選手とのポイント差により、残り2大会（4レース）を残し、今シーズンのチャンピオンが決定しました。

ティム・ガイザー選手は、2015年にMX2（250ccクラス）の世界チャンピオンを獲得。翌2016年には、最高峰のMXGPにステップアップして、ルーキーイヤーでチャンピオンを獲得しました。今回、ティム・ガイザー選手自身にとっては、通算5度目のモトクロス世界選手権でのチャンピオン獲得となりました。

■ Team HRC ティム・ガイザー

「ベストな走りではありませんでしたが、チャンピオン獲得という今日の目標を達成できました。(MX2 クラス、MXGP クラスあわせ) 世界タイトルを 5 回も獲得できたことが信じられず、まだ実感できていません。レース会場、そして日本からサポートしてくれた Team HRC のみんなに感謝しています。恋人や世界中のファンにも感謝を送りたいです。たくさんのファンが会場で応援してくれてうれしかったですし、感謝してもしきれません。今日は特別な日になりました。5 回目の世界タイトルを獲得できてうれしいです」

■ 本田技研工業株式会社 執行職 コーポレートコミュニケーション統括部長 兼 株式会社ホンダ・レーシング (HRC) 代表取締役社長 渡辺康治

「ティム・ガイザー選手チャンピオン獲得おめでとう。今シーズンは大きなけがもなく、3 大会連続で完全優勝 (1 大会で開催される 2 レースともに優勝) する圧倒的な強さと、確実に上位でポイントを積み上げる安定感を見せ、見事にタイトルを奪還してくれました。昨年の悔しさをバネに、ライダーとしてさらに成長した彼を誇りに思っています。最後になりましたが、彼のチャンピオン獲得に携わったチームスタッフ、そしてレース活動を支えてくださった多くのスポンサー様と、モトクロスファンの皆様に心から感謝いたします」

■ ティム・ガイザー選手のプロフィール

生年月日：1996 年 9 月 8 日 (25 歳)

出身地：スロベニア

主な戦績：2009 年 85cc ヨーロッパ選手権チャンピオン
2012 年 125cc ヨーロッパ選手権チャンピオン
125cc ジュニア世界選手権チャンピオン
世界選手権 MX2 デビュー
2013 年 世界選手権 MX2 ランキング 20 位
2014 年 世界選手権 MX2 ランキング 5 位
2015 年 世界選手権 MX2 チャンピオン
2016 年 世界選手権 MXGP チャンピオン
2017 年 世界選手権 MXGP 5 位
2018 年 世界選手権 MXGP 4 位
2019 年 世界選手権 MXGP チャンピオン
2020 年 世界選手権 MXGP チャンピオン
2021 年 世界選手権 MXGP 3 位
2022 年 世界選手権 MXGP チャンピオン

■ Honda CRF450RW の概要

エンジン形式：水冷・4 ストローク・OHC・449.7cm³ 単気筒

フレーム形式：アルミ製ツインチューブ

タイヤ：前：21 インチ 後：19 インチ